

[報道関係各位]

**ウチダスペクトラム、
企業のソフトウェア資産管理をサポートするワンストップ・サービス
「SAM N@VI」を提供開始**

～ SAM サービスを強化・拡張し、法令順守、コスト削減、IT 投資の最適化をサポート ～

ウチダスペクトラム株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：町田潔、以下ウチダスペクトラム）は、企業のソフトウェア資産管理（SAM：Software Asset Management）への取り組み支援を目的に提供してきた SAM サービス群を強化し、新たな SAM ワンストップ・サービス「SAM N@VI（サム・ナビ）」として本日より提供開始します。「SAM N@VI」では、国際標準規格 ISO/IEC 19770-1（注1）準拠のソフトウェア資産管理基準 Ver2.0（注2）に対応した従来の7種類のサービスを15種類のサービスに細分化および拡充し、さらにきめ細かく厳格な資産管理の実行を支援いたします。サービス価格は、お客様の状況に合わせて個別見積りとなります。

「SAM N@VI」は、国際標準に基づき、ソフトウェア資産業務に必要なプロセスを「計画」「実行」「評価」「見直し」のサイクルに定義した上で、各プロセスに有効なコンサルティング、トレーニング、ツールなどのサービスをお客様の課題とゴールに合わせて提供するワンストップ・サービスです。ソフトウェア資産管理基準 Ver2.0に基づく成熟度モデルを利用した評価規準（注3）の合格ラインであるレベル3（定義されている段階）への到達を支援します。これにより、ソフトウェアの不正使用などのリスク対策・法令順守対応のみならず、未使用ライセンスの活用、ライセンス購入方法の統一化および利用ソフトウェアの標準化によるコスト削減、さらには企業の経営戦略に直結する最適な IT 投資を行うことが可能になります。ウチダスペクトラムでは引き続き、企業のソフトウェア資産管理を経営レベルでの重要な施策の一つとして位置づけ、創業からソフトウェアライセンス販売事業で蓄積してきたノウハウを最大限に活用し、お客様の課題解決に取り組んでまいります。

「SAM N@VI」を構成する各サービスの概要は以下のとおりです。一部のサービスにつきましては、社団法人コンピュータソフトウェア協会（ACCS）ならびにデロイト トーマツ リスクサービス株式会社と協力して提供いたします。

<計画・見直しプロセス>

(1) 現状分析から解決策立案までを行う「コンサルテーションサービス」

（協力：デロイト トーマツ リスクサービス株式会社）

<実行プロセス>

(2) ニュースや事例紹介など SAM に関する最新情報を提供する「ニュース配信サービス」

(3) 先進ユーザー事例や運用上のノウハウの共有をサポートする「ユーザー会支援」

(4) SAM の知識や実務についての情報を集約した「SAM 業務ポータル」

(5) SAM についてのトレーニングを時間・場所を選ばず受講できる「eラーニング」

（協力：社団法人コンピュータソフトウェア著作権協会）

- (6) 著作権やSAMに精通した専門家の講義を直接受けられる「個別セミナー」
(協力：社団法人コンピュータソフトウェア著作権協会)
- (7) SAMに関する知識が豊富なスタッフが問い合わせに答える「Care サポートサービス」
- (8) SAMの仕組みを短期間で構築する「IT資産管理構築サービス」
- (9) 所有ライセンスの内容と契約状況を一括管理するレポートサービス「My Asset Reporter」
- (10) ソフトウェア購入プロセスの標準化を行う「ウェブ・プロキュアメント・システム」
- (11) グローバル規模でソフトウェア資産の簡素化・効率化を図る「包括契約運用支援サービス」
- (12) ライセンスの過不足を把握し、第三者からの監査要求に対応する「GAP分析支援サービス」
- (13) ソフトウェアのインストール状況を把握する「棚卸支援サービス」

<評価プロセス>

- (14) 現状分析と改善点の提示を行う「SAMアセスメントサービス」
- (15) 管理体制の整備状況と運用状況を実際に監査する「SAM監査」

以上

(注1) 国際標準化機構 (ISO) と国際電気標準会議 (IEC) が2006年5月にソフトウェア資産管理の標準規格を策定し、ISO/IEC 19770-1として発行。ソフトウェア資産管理のタグとされるもののデータ規格としてISO/IEC 19770-2が現在審議中。

(注2) ソフトウェア資産管理コンソーシアムが策定したソフトウェア資産管理基準 Ver2.0の13の管理目標である、「ソフトウェア資産管理の方針・規程の整備」「ソフトウェア資産管理体制の整備」「ソフトウェア資産管理の在庫プロセスの枠組み」「所有ライセンスの把握」「導入ソフトウェアの把握」「所有ライセンスの証明」「ソフトウェア不正使用は不法行為であるとの認識」「ライセンス内容の理解」「不正を犯しにくい環境」「購入コストの削減」「管理の効率化・コストの削減」「セキュリティ上の配慮」「運用管理プロセス」に対応。

(注3) ソフトウェア資産管理コンソーシアムが策定した評価規準であるソフトウェア資産管理 評価規準 Ver2.0は、ソフトウェア資産管理の成熟度モデルを6段階のレベルに定義。レベル0：管理が存在しない段階、レベル1：初期/場当たりの段階、レベル2：反復可能な段階、レベル3：定義されている段階、レベル4：管理されている段階、レベル5：最適化されている段階。

■ウチダスペクトラム株式会社について

ウチダスペクトラム株式会社は、株式会社内田洋行と米国インサイト・エンタープライズ社 (旧ソフトウェア・スペクトラム社) のジョイントベンチャーです。ソフトウェア・ライセンス販売とマネジメント・サービス、ライセンス・コンサルティング、テクノロジー・コンサルティング、および「SMART/InSight」を中核としたエンタープライズサーチ事業を展開しています。1995年3月設立。

【商標について】

My Asset Reporter®はウチダスペクトラム株式会社の登録商標です。

■本件に関するお客様のお問い合わせ先

ウチダスペクトラム株式会社 サービス&ソリューショングループ

TEL: 03-5543-6800 FAX: 03-5543-6810 contact@spectrum.co.jp

■報道関係者の皆様のお問い合わせ先

ウチダスペクトラム株式会社 広報担当 山本

TEL: 03-5543-6801 FAX: 03-5543-3745 press@spectrum.co.jp